

平成30年度全国学力学習状況調査に関わる系統性を考えた今後の取り組みについて

	国語科	算数科	理科・生活科	生活・学習
重点課題	<p>A問題 【課題】</p> <p>①「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことができていない児童が約70%。(通過率29.4%)</p> <p>②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、「管理」の「管」と同じ漢字が使われている熟語を選ぶことができていない児童が、約40%。(通過率58.8%)</p> <p>B問題 【課題】</p> <p>①「話すこと・聞くこと」の領域において、計画的に話し合うために司会の役割についてとらえることができていない児童が約40%。(通過率58.8%)</p> <p>②「読むこと」の領域において、目的に応じて複数の本や文章などを選んで読むことができていない児童が約70%。(通過率29.4%)</p>	<p>A問題 【課題】</p> <p>①除法で表すことができる2つの数量の関係を理解していない児童が約60%。(通過率41.2%)</p> <p>②示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができていない児童が、約50%。(通過率52.9%)</p> <p>B問題 【課題】</p> <p>①示された考え方を解釈し、他の数値の場合を整理し、条件に合う時間を判断することができていない児童が約70%。(通過率29.4%)</p> <p>②示された考え方を解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できていない児童が約60%。(通過率41.2%)</p>	<p>【課題】</p> <p>①ヒトの腕が曲がる仕組みを模型に適用して、正しい説明を選ぶことができていない児童が、約60%。(通過率41.2%)</p> <p>②土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できていない児童が、約60%。(通過率41.2%)</p>	<p>【課題】</p> <p>日々の就寝時刻を高学年は22時にしており、生活習慣振り返り表をつけてきた。5月の結果に比べ、6月は守れた児童が増えた。しかし、同じくらいの時刻に寝ていない児童が41.2%おり、就寝時刻が定着していない現状が見られる。</p> <p>【国語科】5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てを工夫して発表していない児童が58.9%いる。</p> <p>【算数科】算数の授業で、問題を解く時もっと簡単に解く方法がないか考えていない児童が53%おり、半分以上が自分が見つけた方法以外、考えられていない。自分で解く方法をみつけられない児童もいる。</p> <p>【理科】理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えていない児童が52.9%いる。</p>
1年	<p>A-①物語的・説明的文章の単元では、誰がどんなことをしたかを考えて場面ごとに読み、大事な所に線を引かせる。また、「わたしは、」「～です。」などの主述を意識させて文を書く。</p> <p>A-②同音異義語の漢字を正しく書く。</p> <p>B-①文の構成の順序「はじめ」「なか」「おわり」を意識させて、宿題で日記を書かしたり、スピーチをさせたりする。</p> <p>B-②色々な文章に慣れるために、声を大きく出した音読とモジュールを使ったリズムのある読書活動を充実させる。</p>	<p>A-①文章問題では、文の中から必要な情報を取り出すために、分かっていることに直線、聞いていることに波線、たしざんやひきざんの言葉や答えの単位に○をさせる。</p> <p>A-②色々な形の積木を敷き詰めて色々な形をつくる。また、色々な立体的図形に親しむために、立体で形を作り立体図形の特徴に気付かせる。</p> <p>ものさしを正しく使い、線を真っ直ぐ引くことを意識させ、色々な形を作図する。</p> <p>B-①時計の短針、長針の意味と読み方を定着させ、日常的に時計を見て時刻や時間に親しませる。</p> <p>B-②生活に関わることや身近なものを教えて、絵や図で表せることを読み取らせる。</p>	<p>①ワークシートに観察しているものを(色・かたち・大きさ)に着目して丁寧に絵に描かしたり、観察して気付いたことをまとめさせる。</p> <p>②季節の変化を感じ取らせるために、自然を使った遊び道具や役立つものを、友達と話し合ったり、協力させたりしながら作成させる。また、季節ごとの温度の違いや陽向と日陰の温度の違いにも気付かせる。</p> <p>③何かの現象を見て、「どうして起こるのか」「どうなっているのかな」などの疑問をもたせる。</p>	<p>①帰宅後の学習や生活リズムについて、時計の学習を通して守っていく意欲を育てる。</p> <p>②自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために話形を示し、「いきいきタイム」や「スピーチの時間」を設定し、話す機会を増やす。</p> <p>③授業の振り返りを行い、他者から学んだことや今後生かせそうなことを考えさせ、自習学習に取り組んでみるように声をかける。</p> <p>④生活の中で様々な気付きや、自然現象の変化を比較させる内容を授業に取り入れ気付きの質を高める。</p>
2年	<p>A-①「主語」と「述語」について初めて触れる場面で2年生の単元の中にある。基本的な文の構造を学ぶ第一歩として、用語やその働きとともに主語と述語とが照応することが大切であることをしっかりと理解させる。</p> <p>A-②漢字の学習においては、漢字一文字一文字を正しく書くことを指導するとともに、熟語や文中での使い方でも理解させる。</p> <p>B-①グループで話し合う活動を通して、話し合った考えをまとめる力をつけさせ、司会の役割につなげる。</p> <p>B-②本や文章を読み比べる活動を取り入れたり、大事な言葉や文に気がついたら文章を読むことを指導したりする。</p>	<p>A-①九九を確実に覚えさせるとともに、乗法の意味についてもしっかりと理解させる。</p> <p>A-②「前後」「上下」「左右」などの位置関係を表す言葉を日常生活の中で使用する。</p> <p>B-①加法と減法の相互関係について理解させ、反復学習などを通して確実に計算できる力を身に付けさせる。</p> <p>B-②加法、減法、乗法についての理解を深め、計算の性質やきまりを見つける活動を通してそれらを用いる能力を伸ばす。</p>	<p>①実際に自分の体に直接触れたり体を動かしたりする際に、児童が自分の体のつくりに関心をもつことができるような言葉がけをする。</p> <p>②日常生活の中で「どうなるのかな」「どうしてかな」など児童が自分で考えたり予想したりすることを促すような声かけをする。</p>	<p>【生 活】年齢が上がるにつれて就寝時刻を守ることがだんだん難しくなってくると思われる。睡眠の大切さをしっかりと伝え、低学年のうちの良い生活習慣が定着するよう指導する。</p> <p>【国語科】各教科にペア交流やグループ交流を取り入れ、自分の考えを相手に伝える場面を積極的に取り入れる。</p> <p>【算数科】算数で大切なことは「はやい」「かんだん」「せいかく」であることを常に意識させながら考えさせる。</p> <p>【生活科】「町たんけんとき勉強だね」「みんなが見つけた野菜と比べてどう？」など、授業の中で学んだことを児童が日常生活の中で意識できるような声かけを積極的に行う。</p>
3年	<p>A-①主語と述語の関係を明確にして話したり、書いたりさせる。</p> <p>A-②筆順や止め・はね・払いに気をつけて漢字を書かせるとともに、書き取り問題を繰り返し練習し、漢字や漢字の熟語の定着を図る。</p> <p>B-①学級会での司会の進め方を指導したり、毎日の朝の会・帰りの会の司会を全員に体験させたりして、司会の会の進め方を指導する。</p> <p>B-②ひとつのことを調べる際、複数の資料を読ませ、その共通点や相違点を整理し、まとめる練習をさせる。</p>	<p>A-①整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるように練習させると共に数直線や線分図等を使い、数量関係を捉える活動を仕組む。</p> <p>A-②平面上での位置を表す機会を設定する。そのために、マス目や位置を表すことを用いるゲームなどを取り入れる。</p> <p>B-①「時刻と時間」の問題や「表とグラフ」で学習した問題の練習を定期的に実施し、棒グラフの表し方、読み取り方や二次元表の見方についてなどについて、学習した内容の定着を図る。</p> <p>B-②乗法や除法の問題について確実に計算できるようにする。また、文章題において設問と解答のための情報に下線を引きて分類するなどして、整理して捉えることを指導する。</p>	<p>①言語だけでなく様々な提示物(根拠)と関連させながら相手に伝えるような話し方を習得させる。そのために、観察・実験の結果を、表やグラフ、絵や模型等と関連づけて、「～だから、・・・と思う。」「～から、・・・ということが分かる。」などの話形を使って自分の考察を記述する学び方も習得させる。</p> <p>②差異点や共通点を基に、問題を見いだす学び方を習得させる。そのために、既習事項と比較して差異点や共通点を捉え、課題を見いだす学び方(調べ)を獲得させる。その際、「昨日(今まで)は～だったけど、今日は、・・・だから～が変わる(同じ)」という話形を使って発表させる。</p>	<p>①懇談会等で、早寝・早起き・朝ご飯の意義の説明をし、保護者に協力を依頼する。</p> <p>②発表する活動の指導の見直しを行い、発言の根拠となる事柄を必ず入れて話す話法の指導の徹底を図る。</p> <p>③友だちの考えや意見を聞いて出てきた方法を使って、適用問題を解かせる。自分をはじめに考えた方法以外によい方法がないか、考えさせる機会を持つ。</p> <p>④理科の学習が実生活にどのようなことに役立っているか、説明する。また、児童に日常生活で学習したことを役立てている様子について問い、学級全体で確認をする。</p>
4年	<p>A-①主述の関係を明確に話したり、書いたりさせる。</p> <p>A-②筆順や止め・はね・払いに気をつけて漢字を書かせるとともに、様々なタイプの書き取り問題を用意して、個別のカルテを作成し、指導を充実させる。</p> <p>B-①学級会の司会の進め方を指導し、毎日の朝の会・帰りの会の司会を全員に体験させ、進め方を習熟させる。</p> <p>B-②ひとつのことで複数の資料を読ませ、違いや共通点を見出させ、整理する練習をさせる。また、新聞記事を読ませ、要約を150字～200字で練習をさせる。</p>	<p>A-①数直線や線分図及び関係表を頻繁に使い数量関係を捉える活動を多く仕組む。</p> <p>A-②2次元で位置を表す機会を多く設定する。また、位置を表して遊ぶレーザー作戦ゲームをさせる。</p> <p>B-①時刻と時間の問題を定期的に実施し、個別のカルテを作成し、指導を充実する。</p> <p>B-②B問題の活用力を問う問題に当たらせて、課題を整理・分析する。また、単元ごとに応用問題や発展問題を作成し、解かせる。</p>	<p>①人体の構造図や模型図を使って、筋肉と骨の動きを立体的に捉えさせる。</p> <p>②運動場の土砂を使って、水を流す時の様子をしっかりと観察させる。(季節ごとの学校の様子を観察させる際に。)本年度、県内で起こった豪雨災害の洪水や土石流の仕組みを画像を記録し、児童に視聴させる。</p>	<p>①早寝・早起き・朝ご飯の意義の説明をし、広く保護者に協力を要請する。</p> <p>②発表活動の見直しを行い、一人ずつ資料を用いてさせる機会を持つ。2学期早々に、科学研究発表会や総合的な学習の時間の調べ活動の中間発表などを企画する。</p> <p>③友だちの考えや意見を使って適用問題を解かせる。また、一人で多様に考えることのできる問題場面の設定をする。</p> <p>④理科の学習が実生活にどのように役立つかその都度、説明をしていく。また、日常生活で、児童から学習を役立てている様子について問い、学級全体で確認をする。</p>
5年	<p>A-①主述の関係や修飾語に気をつけて、文を読んだり書いたりさせるようにする。また、自分が書いた文を読み返す習慣をつけさせる。</p> <p>A-②新出漢字を学習する際、熟語を考えたり、調べたりさせる。また、短文づくりを行い、文の中で使用できるようにする。定着を図るため、定期的に小テストなどを行う。</p> <p>B-①「和の文化を受けつくなり菓子を作る」の単元において、資料を活用して効果的に発表したり、司会など役割を明確にして発表したりする活動を行う。</p> <p>B-②「手塚治虫」の単元において、伝記の学習をする際、人物の生き方やそれについての自分の考えをまとめるようにさせる。また、他の伝記を読む活動に広げる。</p>	<p>A-①「比例」の単元において、表を用いて伴って変わる2つの数量関係を考えさせ、グループなどで話し合うことを通じて気づかせるようにする。</p> <p>A-②「立体」の単元において、立体の特徴などを捉えることができるように、模型や図などを活用できるようにする。また、ものの位置を表す活動や目盛りをよむ活動をそれぞれ単元に位置付ける。</p> <p>B-①「割合とグラフ」の単元において、色々なものの割合を表やグラフに整理して表す活動を設定する。また、そのために必要な計算の仕方を繰り返し行い、定着を図る。</p> <p>B-②「倍数と約数」の単元において、数の並びからきまりを見つけたり、見つけたことを話し合ったりする活動を位置付ける。さらに、見つけたきまりを口頭や記述で説明させる。</p>	<p>①「ものどけ方」や「ふりこのきまり」などの単元において、実験したことや模型で表したものを図や絵で表すなどの活動を位置付ける。</p> <p>②「流れる水のはたらき」の単元において、流れる水のはたらきを予想し、予想したことを確かめる実験方法を考えさせ、確かめる活動を行う。他の単元の実験においても、予想や実験方法を考える活動を取り入れる。</p>	<p>①生活ふり返りなどを活用して就寝時刻のチェックを行う。また、週末明けの月曜日に週末の過ごし方を確認したり、週末の金曜日に一週間の生活をふり返り振り返りする時間を朝の会や帰りの会に設定する。</p> <p>②いきいきタイムを活用して、メモをもとに組み立てを意識して話す活動を行う。また、国語科だけでなく、社会科や総合的な学習の時間に資料をもとに発表する活動を取り入れる。</p> <p>③まずは、自分の考えがノートに書けるようにする。そのために、自ら動いて友達に尋ねさせるようにする。自分の考えをまとめることのできる児童には、「他の方法」「速い方法」」「簡単な方法」など複数考えさせるようにする。さらに、自分とは異なる友達の考えをメモさせるようにする。</p> <p>④理科の学習において、導入で生活に関連のあるものを紹介したり、単元末で生活の中で活用されているものを考えさせたりするようにする。</p>
6年	<p>A-①「物語を作ろう」の学習において、主語と述語をはっきりさせる。修飾語と被修飾との関係をはっきりさせる指導をする。書いたり話したりする時に、5W1Hなどの文の構成を理解させる指導をする。</p> <p>A-②1つの漢字に対して、様々な使い方を考えたり調べたりする指導をする。また、文や文章の中で日常的に漢字を使うとする習慣を身に付けさせる。</p> <p>B-①学級会などにおいて、提案者の意見を受け、整理し参加者の考えを引き出すなど、話し合いにおける司会の役割を理解させる。そのため、司会、提案者など役割のある話し合いの場を設け、経験させる。</p> <p>B-②資料を生かして呼びかけよう「町の幸福論」の学習において、それぞれの目的に応じて、複数の本や文章を比べて読む活動を取り入れる。共通点や相違点に気づく、疑問を解決する、より深く知るなど、効果的な読み方の指導をする。</p>	<p>A-①「速さ」「比とその応用」「比例と反比例」の学習において、問題文正しく理解し、乗法や除法を適切に適用して問題を解く力をつける。また、表を用いて伴って変わる2つの数量の関係を考察できるようにする。</p> <p>A-②「立体の体積」の学習において、方眼を使って平面の頂点の位置(2次元)を把握させることから空間(3次元)へ物の位置の表現ができるようにする。そのために、マス目や格子の数を0を基準に数えることができるようにする。</p> <p>B-①複数の条件を満たす解答ができるようにする。そのために、資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり、読み取ったりする力をつける。日常生活の中で時刻や時間を意識して、時間に着いての理解を深める。</p> <p>B-②条件を変更した場合の表現方法を適用して、言葉や数を用いて説明する機会を増やす。また、問題文から必要な情報を適切に取り出す力をつける。</p>	<p>①「月と太陽」「大地のつくりと変化」「てこのはたらき」の学習において、観察や実験、資料等を用いて調べる活動などを通して、獲得した内容を図や模型を用いて説明させる指導をする。</p> <p>②「水溶液の性質」「てこのはたらき」の学習において、児童が問題に対して根拠のある予想や仮説を発想し、それらを確かめるための観察・実験の方法を考えさせる指導をする。</p>	<p>①学活の時間や家庭科の学習で、自分の一日の生活時間を設定し、規則正しく健康的な生活を送ろうとする意欲を育てる。学級懇談会で、児童の実態を知らせ、基本的な生活習慣が身につくように協力をお願いする。</p> <p>②考えを発表する際に、スピーチメモを作成し、話す内容の順番や組み立てを意識させる。自分の発表の内容に添った資料にはどんなものを用意したらよいか、国語の授業で考えさせる。</p> <p>③一つの方法を見つけた児童には、他に方法はないか考えさせたり、多様な考えを見つけてさせる時間を保障したりする。支援の必要な児童には具体的なヒントを提示し、自信をもつ取り組めるようにする。</p> <p>④理科の学習したことが生活のいろいろな事象につながっていることやニュースに取り上げられていることを話題として取り上げる。児童の関心のある理科の掲示物や図書を用意する。</p>
特別支援 自閉症/情緒	<p>①さし絵を見ながら、主語・述語に気をつけて、文を書いたり、例文から主語・述語を見つけたりすることをチャレンジの時間に行う。</p> <p>②同音の漢字の意味の違いを漢字カードを使って学習させる。</p> <p>③学活や自立活動の時間に、司会の役割を明確にして、話し合い活動を行う。</p> <p>④単元に応じて、目的に応じた本の選び方を具体的に指導する。</p>	<p>①問題文にわかっていること、尋ねていることに線を引かせ、自分の言葉で表現させることで、理解を図る。</p> <p>②積み木などの具体物を並べることで、位置の表現の仕方を学習させる。</p> <p>③日常生活の中で、何時間前(後)、何分前(後)、何時間(何分)かかるなど、時間を意識させる言葉がけをする。</p>	<p>①わかりやすい説明の仕方や適切な言葉の使い方について、具体的に指導する。</p> <p>②自分の予想がもてるように、選択肢を示す。</p>	<p>①就寝時刻を守らないことで、どのような影響が起きるのか伝える。保護者と連携し、就寝時刻が定着できるようにする。</p> <p>②考えを発表する時に、スピーチメモを作成し、それをもとに発表させるようにする。</p> <p>③教科書を参考に、いろいろな考え方ができることを知らせ、次時でも使えないか考えさせる。</p> <p>④自然科学などのニュースを紹介したり、図鑑や科学絵本を用意したりして、児童が理科に関心を持てるようにする。</p>
特別支援 知的	<p>①主語と述語、5W1Hに注意して日記や作文を書かせる。発表する際も主語と述語を意識して話させる。</p> <p>②目的に応じて本を選ぶ経験を多く積ませる。大まかな内容をとらえながら読むようにさせる。</p>	<p>①文章問題に必要な数字や言葉に線を引くなどし、問題を正しく理解して解くようにさせる。</p> <p>②簡単な事柄を分類整理して、数量で表したり、簡単な表にまとめたりする。</p> <p>③日常生活で、時間や時刻を意識するような言葉がけや簡単な問題を出す。</p>	<p>①飼育・栽培活動で、観察したり触ったりする活動をさせ、記録したことを他者に伝える活動をさせる。</p> <p>②1年間の植物や生きもの様子の観察で、観察方法を考えさせたり予想を立てさせたりする。</p>	<p>①就寝時刻が守られるように毎日確認したり、家庭と連携したりする。</p> <p>②朝の会でスピーチする際に5W1Hを意識して話させる。</p> <p>③朝の会や授業の中で、時々新聞の記事について取り上げる。</p>